

平成30年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・作業机での4人組活動で、アイデアの共有とアドバイスにより、アイデアが浮かばず固まる生徒がみられなくなった。
- ・目標設定の明確化と評価の観点との整合性により、制作中の集中力が高まった。
- ・全員展示の校内展実施により、鑑賞の機会が設けられた。
- ・ブルーレイディスクと電子黒板による鑑賞学習が可能となり、自分で編集した映像を効率よく授業で活用できるようになった。

(2) 課題

- ・発想構想の力は、生徒の能力に負うところが大きい。制作の初期段階で生徒同士がアイデアに関するコミュニケーションを行い、より広い気付きに結びつける必要があると考える。今年度は、4人組以外の関わり方を検討する必要がある。
- ・美術科として身に付けるべき能力全般に関わるのは鑑賞の能力と考えるので、作品展示だけでなく、補助資料を活用した鑑賞の回数を増やす必要があると考える。
- ・鑑賞に関しては、表現活動と連携させていきたいが、美術室には電子黒板が設置されていないため、各教室での独立した授業としなければならない。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	実施なし	実施なし	/
第2学年	実施なし	実施なし	実施なし (第1学年時)
第3学年	実施なし	実施なし	実施なし (第2学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
・集中力や、指導された授業態度が少しずつ身に付いてきているが、学習意欲の個人差が大きい。	・参考作品を見ながら具体的な説明を聞くと、形のバランスに気付くことができるが、細部への配慮が不足する生徒がまだ見受けられる。	・能力の個人差が大きい。積み重ねの練習で正確なレタリングができる生徒と、反面、定規で寸法を測る等の細かい作業が苦手な生徒もいる。	・作品の時代背景や、制作者のエピソード等に関心を持ち、継続した興味を持つ生徒が例年に比べると少ない。

② 第2学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律が身に付き、毎時間積極的に制作に取り組むことができる。 ・用具を正しく使い、安全に作業することができる。 ・参考作品よりも良い作品を制作しようとする生徒が何人もみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の観点を明確にすることで、アイデアが出しやすくなった。 ・参考作品を基に工夫を加える生徒が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業手順と注意事項を守り、基本的な技能を習得できる生徒が多い。 ・根気強く作業を積み重ねて作品のレベルを上げる生徒が多い。 ・自分の目標とする仕上がりに向けて表現方法を工夫する生徒が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の時代背景や、制作者のエピソード等に関心を持ち、継続した興味を持つことができる。 ・友達の作品の良さを感じ取ろうとする生徒が多い。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律が身に付き、毎時間積極的に制作に取り組むことができる生徒が多い。 ・用具を正しく使い、安全に作業することができる。 ・作品を美しく仕上げようとする気持ちをもって作業をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の観点を明確にして制作することで、アイデアが出しやすくなった。 ・短時間で集中してアイデアをまとめることができる生徒が多い反面、課題を先延ばしにする生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業手順と注意事項、提出期限を守り作品を完成させることができる生徒が多い。 ・根気よく作業を積み重ねて作品のレベルを上げる生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本美術の時代背景や、伝統的な表現の変遷等に関心を持ち、興味を持って鑑賞活動ができる。 ・友達の制作に興味を持ち、優れた発想や技能を素直に賞賛し、自ら参考にする生徒が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい導入を目指し、作品の静止画像と制作手順の動画も取り入れる。 ・教卓に集める等の生徒の動きを取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業機の4人組活動を取り入れる。アイデアスケッチの段階で情報の共有を行い、お互いにアドバイスをして作品に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モダンテクニックの体験と、その組み合わせの作品を短時間で制作することで表現の幅を広げる。 ・基本的な用具の使い方と応用について確認する時間をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーレイディスクと男子黒板を活用し、鑑賞学習を行う。 ・校内展示以外で、上級性の作品に触れ、具体的な目標を持つ。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
----------	-------	----	----

<ul style="list-style-type: none"> ・授業外での作品準備ができるよう、導入とまとめで『自己評価カード』を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業機の4人組活動をとり入れる。アイデアスケッチの段階で情報の共有を行い、お互いにアドバイスをして作品に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い表現とそ のための技能を習得するために、必要に応じた鑑賞も取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のジャンルと鑑賞の機会を増やし、気付きと感想を記入することで、見方や感じ方を深めるようにする。
---	---	--	--

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行事前学習を活かして、日本美術と伝統的な表現技法を学び、教科間の連携を計り興味関心につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業機の4人組活動をとり入れる。アイデアスケッチの段階で情報の共有を行い、お互いにアドバイスをして作品に生かす。 ・1年次からの学習を記録ファイルで振り返り、幅広い発想構想につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い表現とそ のための技能を習得するために、必要に応じた鑑賞も取り入れていく。 ・版画の刷りなどは、静止画像や動画よりも効果的な実演で作業上のポイントを伝え、技能の習得を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品のジャンルと鑑賞の機会を増やし、気付きと感想を記入することで、見方や感じ方を深めるようにする。